

平成十三年度研究所活動報告

前号彙報のように、研究会「弘法大師の思想とその展開に関する研究」と「密教の形成と流伝に関する研究」は、平成十二年度から合同で月例の研究会を行なっている。平成十三年度は学外の研究者を招いて行われた特別研究会、受託研究員河延龍（韓国）とS・トレンソン（ベルギー、京都大学大学院）両氏の発表を含め、都合九回開催した。研究会のメンバーは、東所長、藤田・前谷・越智・山陰・室寺各所員の他、受託研究員として岩崎日出男氏（園田学園女子大学助教授）・森雅秀氏（金沢大学助教授）を加えた八名である。研究会の発表者とテーマは前号彙報のとおり。

平成十三年度研究所所員研究業績

藤田 光寛

○論文

「Candragomin 著〈菩薩律儀二十〉とその注釈書2種——校訂テクスト——」『高野山大学密教文化研究所紀要』第一五号 二〇〇二年二月 一一—一二頁（横組）

前谷 彰（恵紹）

○論文

「道慈伝再考」『高野山大学密教文化研究所紀要』第一五号 二〇〇二年二月 一一—一二頁

山陰加春夫

○著書

『高野への道』高野山出版社 二〇〇二年五月 一一—八四頁（村上保壽との共著）

○編著書

『きのくに荘園の世界』下巻 清文堂出版 二〇〇二年二月 一—四—二二頁

○論文

「鞆淵八幡神社の中世文書——「歩付帳」の歴史的位置——」『和歌山県立博物館研究紀要』七 二〇〇一年一〇月 一一—二二頁

○口頭発表

「文書・帳簿群の分置システムの成立と展開」日英中世史料論シンポジウム（於熊本大学）二〇〇一年四月

○その他

「鎌倉時代の高野山の森林保護政策について」『山林部50年の歩み』総本山金剛峯寺 山林部 二〇〇一年四月 五九—六〇頁

「紀淡海峡を取り巻く交流の昔・今・未来——信仰が結ぶ心の架け橋——」

『紀淡海峡交流フォーラム』 二〇〇一年一月 一一—七頁、及び資料 一一—五頁

『城陽市史』第一巻 京都市城陽市 二〇〇二年一月 三九八―四六五頁

室寺 義仁

○論 文

「土地経」における「大悲」(mahakaruna)について、『日本仏教学会年報』第六七号 二〇〇〇年五月 一三一―二六頁

○その他

「法身説法と瞑想者のカルマ——果分可説への一指標——」『平成13年度 真言宗教学大会・第37回高野山安居会 講義録』 二〇〇二年二月 八三―一六四頁

平成十三年度寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換雑誌は平成十三年四月より平成十四年三月末までの間に登録したものです。御寄贈者の諸機関ならびに諸氏には厚く御礼申し上げます。当研究所の図書充実のため、今後とも一層の御協力と御支援をお願いいたします。

寄贈図書

○石山寺資料叢書 近世文書集成 石山寺文化財総合調査団編

(法蔵館 平成13年11月) 石山寺殿

○一鳥声あり 松長有慶著

(高野山補陀洛院 平成14年2月) 著者殿

○大鳴山修験道 葛城二十八宿を巡る 垂井俊憲写真

(東方出版 平成13年3月) 甲田博史殿

○印刷博物誌 (artes imprimendi) 凸版印刷印刷博物誌編纂委員会編

(凸版印刷 平成13年6月) 発行者殿

○円卓討論会「神道研究のグローバル化へ向かって」

〈ISFセミナーブック〉 国際文化工房編

(神道国際学会 平成13年12月) 発行者殿

○大坂の学問〈関西大学東西学術研究所創立五十周年記念論文集〉

関西大学東西学術研究所編

(同大学同研究所 平成13年10月) 発行者殿

○大谷大学百年史〈通史編、資料編〉 大谷大学百年史編集委員会編

(大谷大学 平成13年10月) 発行者殿

○悔堂学報 5 悔堂学会編

(図書出版真覚宗海印行 平成12年6月) 河廷龍殿

○韓国仏教学 SEMINAR 第8号 一黙〈朴点淑〉他編

(韓国留学生印度学仏教研究会 平成12年7月) 河廷龍殿

○関西大学東西学術研究所創立五十周年記念論文集

関西大学東西学術研究所編

(同研究所 平成13年10月) 発行者殿

○紀の川流域荘園詳細分布調査概要報告書 1

〈紀伊国隅田荘現況調査〉

和歌山県教育庁文化財課紀の川流域荘園詳細分布調査委員会編

(和歌山教育委員会 平成12年3月) 山陰加春夫殿

○きのくに荘園の世界 下巻 山陰加春夫編

(清文堂出版 平成14年2月) 山陰加春夫、原田正俊殿

○紀陽銀行百年史〈本編、資料編〉 紀陽銀行編

- 高野山大学公開講座テキスト3 〈人間空海を求めて〉 静慈圓著
(同銀行 平成8年3月) 編者殿
- 高野山大学公開講座テキスト4 〈密教福祉思想実践の世紀に〉
(高野山大学 平成13年8月) 発行者殿
藤田和正著 (高野山大学 平成13年8月) 発行者殿
- 高野山大学論叢 第36巻 高野山大学編
(同大学 平成13年2月) 発行者殿
- 高野山大宝蔵展 第22回 〈壇上伽藍と奥の院〉 高野山靈宝館編
(高野山靈宝館 平成13年7月) 発行者殿
- 高野への道 〈いにしへ人と歩く〉 村上保壽、山陰加春夫共著
(高野山出版社 平成13年5月) 著者殿
- 高野山麓 天野の文化と民俗 No.4 日野西真定、秋宗正男編
(天野歴史文化保存会 平成13年3月) 木下浩良殿
- 古代文化 Vol.53 古代文化刊行委員会編
(古代学協会 平成13年3月) 河廷龍殿
- 持松法師記念文集、持松法師記念文集〈統編〉 真禪主編 (華東師範大学出版社刊 平成6年10月、平成7年8月) 韓金科殿
- 持松法師論著選集 真禪主編
(華東師範大学出版社刊 平成5年11月) 韓金科殿
- 持松法師論著選集二(上、下編) 真禪主編
(荆門市政協学習文史委員会出版刊 平成11年) 韓金科殿
- 受戒作法〈近士戒法則、勤策戒作法、苾芻戒作法〉 松長有慶編
(高野山補陀洛院 平成14年2月) 編者殿
- 神道古典研究所紀要 第7号 神道古典研究所編
(神道大系編纂会 平成13年3月) 発行者殿
- 随心院流一座行法撮要
(総本山善通寺 平成13年6月) 真言宗善通寺派宗務庁殿
- 統熊野の史料 浜畑栄造著 (同人 昭和52年12月) 甲田博史殿
- タンカの世界〈チベットの美術入門〉 田中公明著
(山川出版社 平成13年3月) 藤田光寛殿
- 檀信徒必携 (真言宗善通寺派宗務庁 平成13年6月) 発行者殿
- 中央学院大学社会システム研究所紀要(第2巻第1、2号)
中央学院大学社会システム研究所
(同研究所・平成13年7月、12月) 発行者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書25〈ケルト復興〉
中央大学人文科学研究所編
(中央大学出版部 平成13年3月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書26〈近代劇の変貌〉
中央大学人文科学研究所編
(中央大学出版部 平成13年3月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書27〈喪失と覚醒〉
中央大学人文科学研究所編
(中央大学出版部 平成13年3月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書28〈民族問題とアイデンティティ〉
中央大学人文科学研究所編
(中央大学出版部 平成13年7月) 編者殿
- 中世探訪紀伊国南部荘と高田土居〈検注を拒否した人々〉
和歌山中世荘園調査会編
(同調査会 平成13年3月) 海津一朗殿
- 智山伝法院選書 第8号〈灌頂〉

- チベット医学 イエシエー・ドゥンデン著 (智山伝法院 平成13年3月) 発行者殿
- チベットの少年 イザベル・ヒルトン著 (地湧社 平成13年5月) 三浦順子殿
- 東寺文書検索システム CD-ROM 6枚組 (世界文化社 平成13年9月) 三浦順子殿
東寺文書データベース作成委員会編
- 長春真人 西遊記〈王観堂静安先生 校注本〉 杉山二朗著 (同委員会 平成13年3月) 発行者殿
- 二代真柱とコンゴ布教〈異文化接触と海外布教〉 (国際仏教学大学院大学 平成14年2月) 同大学殿
天理大学おやさと研究所編
- 日文化叢書 21 〈ムンダ人の農耕儀礼〉 長田俊樹著 (天理大学出版部 平成13年10月) 編者殿
- 日文化叢書 22 〈国際日本文化研究センター共同研究報告 文化における近代〉 井波律子、井上章一編 (国際日本文化研究センター 平成13年3月) 発行者殿
- 日文化叢書 23 〈四国遍路の研究〉 頼富本宏、白木利幸著 (国際日本文化研究センター 平成13年3月) 発行者殿
- 日本史学文献目録(1999) 年度版(平成11) 学術文献刊行会編 (朋文出版 平成14年2月) 編者殿
- 抜萃のつゞり 61 熊平製作所編 (熊平製作所 平成14年1月) 発行者殿
- パリー学仏教文化学 15 パリー学仏教文化学会編
- 佛神 第6、7号(福神研究所 平成13年5月、11月) 発行者殿
- 仏教学会報 第20号 高野山大学仏教学研究室 (同大学同研究室 平成8年1月) 発行者殿
- 仏典入門事典 大蔵経学術用語研究会編 (永田文昌堂 平成13年6月) 高野山大学殿
- 法印松長有慶年譜・著作目録 松長有慶著 (法蔵館 平成14年2月) 著者殿
- 法門寺 韓金科主編(香江出版社刊 平成11年) 編者殿
- 法門寺文化与法門学 韓金科編著 (五州伝播出版社刊 平成13年4月) 編者殿
- 法門寺地宮唐密曼荼羅 韓金科著 (法門寺博物館) 著者殿
- 密教〈21世紀を生きる〉 松長有慶著 (法蔵館 平成14年2月) 著者殿
- 密教学会報 第35号 高野山大学密教学会編 (同学会 平成8年3月) 発行者殿
- 密教学研究 第1輯 大韓仏教真覚宗教育院編 (図書出版真覚宗海印行 平成10年10月) 河延龍殿
- 密教福祉〈世紀を超えて〉 密教福祉研究会編 (御法インターナショナル出版部 平成13年3月) 編者殿
- 密教文化 第205、207号 密教研究会編 (密教研究会 平成12年12月、平成13年3月、12月) 発行者殿
- 曙光山月山寺了翁寄進鉄眼版一切経目録 内山純子、渡辺麻里子編著 (曙光山月山寺 平成13年5月) 編者殿

- 旅行者ウルトラガイド「ラダック」 高木幸哉著
 (旅行者 平成13年6月) 著者殿
- 旅行者ノート 3 「メロンの国」
 (旅行者 平成12年4月) 甲田博史殿
- 旅行者ノート 5 「アジア横断」
 (旅行者 平成12年12月) 甲田博史殿
- 歴史のなかの「ともぶち」(鞆淵八幡と鞆淵荘)
 和歌山県立博物館編 (同博物館 平成13年10月) 発行者殿
- 和歌山県立博物館研究紀要 第7号 和歌山県立博物館編
 (同博物館 平成13年10月) 発行者殿
- Glenn H. Mullin, Reading on the Six Yogas of Naropa. New York: Snow Lion Publications, 1997. 吉沢光洋殿
- Indosan Nipponji Bodh-Gaya. Ecological Ethics and Buddhism. Proceedings of the XXIV International Buddhist Conference. International Buddhist Conference, 1999. 発行者殿
- International Research Center for Japanese Studies, Japanese Studies Around the World 2000. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2001. 発行者殿
- International Research Center for Japanese Studies, Nichibunken Japan Review. No. 12,13. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2000, 2001. 発行者殿
- Kazuhiko Kasaya, The Origin and Development of Japanese-style. Nichibunken Monograph Series: No. 3. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2000. 発行者殿
- Lha rje bsod nams rin chen, Dam chos yig bzhin gyi nor bu thar pa rin po che'i rgyan ces bya ba bzhus so. 1995. 甲田博史殿
- Monta Hayakawa, The Shunga of Suzuki Harunobu, Mitate-e and Sexuality in Edo, Nichibunken Monograph Series: No. 4. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2001. 発行者殿
- Musashi Tachikawa, et al., Three Hundred and Sixty Buddhist Deities, Delhi: Adroit Publishers, 2001. 森雅秀殿
- Oyasato Institute for the Study of Religion Tenri University, Tenri Journal of Religion: No. 29. Tenri: Tenri University Press, 2001. 発行者殿
- Research Institute of Social Systems, Social Systems: Vol. 1. Research Institute of Social Systems, Chugakuin University, 2002. 発行者殿
- Richard K. Payne, ed., Journal of the Institute of Buddhist Studies, Pacific World, Third Series: No. 2. Berkeley: Institute of Buddhist Studies, 2000. 発行者殿
- Samten G. Karney and Yasuhiko Nagano ed., A Catalogue of the New Collection of Bonpo Katen Texts. Senri Ethnological Report 24. Osaka: National Museum of Ethnology, 2001. 発行者殿
- Samten G. Karney and Yasuhiko Nagano ed., A Catalogue of the New Collection of Bonpo Katen Texts Indices. Senri Ethnological Report 25. Osaka: National Museum of Ethnology, 2001. 発行者殿
- W.F. Vande Walle, ed., Dodonaeus in Japan, Translation and the Scientific mind in the Tokugawa period. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2001. 発行者殿
- Yasuhiko Nagano, et al., New Research on Zhangzhung and Related

Himalayan Languages, National Museum of Ethnology, 2001.

発行所殿

○ Yasuhiro Sueki, Bibliographical Sources for Buddhist Studies from the Viewpoint of Buddhist Philology, Addenda III, Bibliographia Indica et Buddhica 3, Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 2001. 発行所殿

○ Yumi Onusaka and Morichi Yamazaki, Bhiksuni-Vinaya: Word Index and Reverse Word Index, Philologica Asiatica, Monograph Series: 18, Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 2002. 発行所殿

○ Bla ma mchod pa'i khrid yig gsang ba'i gnad rnam par mdzod ces bya ba bzhugs so. Delhi: Shering Parkhang, 2000. 甲田博士殿

○ Dpal na ro mkha' spyod dbang mo'i lam rim pa gnyis kyi zab khrid ji llar nos pa'i zin bris shin tu gsang pa gsum mkha' 'gro'i snying bcud ces bya ba bzhugs so. Tibetan cultural printing press, 1995. 甲田博士殿

○ Rje btsun rdo rje rnal 'byor ma na ro mkha' 'spyod dbang mo'i las tshogs dang dkar chag bcas bzhugs so. Delhi: Shering Parkhang. 甲田博士殿

交換寄贈雑誌

1 愛知学院大学文学部紀要〈第31号〉

愛知学院大学文学会（同会・平成14年3月）

2 あふひ・AOI〈第7号〉

京都産業大学日本文化研究所（同研究所・平成13年10月）

3 アジア・アフリカ文化研究所研究年報〈第35号（二〇〇〇年度）〉

東洋大学アジア・アフリカ文化研究所編

（同研究所・平成13年3月）

4 アジア研究所紀要〈第27号〉

亜細亜大学アジア研究所編（同研究所・平成13年3月）

5 アジア文化研究〈27、別冊10「アジア草の根運動」〉

国際基督教大学アジア文化研究所編

6 叡山学院研究紀要〈第24号〉

叡山学院編（同学院・平成14年3月）

7 大倉山論集〈第47輯〉

大倉精神文化研究所編（同研究所・平成13年3月）

8 大谷大学真宗総合研究所研究紀要〈第18号〉

大谷大学真宗総合研究所編（同研究所・平成13年3月）

9 神田外語大学紀要〈第13号〉

神田外語大学（同大学・平成13年3月）

10 九州大谷研究紀要〈第28号〉

九州大谷短期大学内九州大谷学会編（同会・平成14年3月）

11 教化研修〈第45号〉

曹洞宗教化研修所編（同研修所・平成13年3月）

12 京都産業大学日本文化研究所紀要

〈第6号（二〇〇〇年度）、6号別冊〉

京都産業大学日本文化研究所編（同研究所・平成13年3月）

13 京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要〈第14、15号〉

京都女子大学宗教・文化研究所編

（同大学・平成13年3月、14年2月）

- 14 紀州経済史文化史研究所紀要（第21号）
和歌山大学紀州経済史文化史研究所
（同研究所・平成13年3月）
- 15 現代宗教研究（第35号）
日蓮宗現代宗教研究所編（日蓮宗宗務院・平成13年3月）
智山伝法院（同院・平成13年3月）
- 16 現代密教（第14号）
光華女子短期大学部研究紀要（第39集）
光華女子短期大学部編（同学部・平成13年12月）
- 17 光華女子短期大学部研究紀要（第39号）
光華女子短期大学部編（同大学・平成13年12月）
- 18 皇学館大学神道研究所紀要（第17輯）
皇学館大学神道研究所編（同研究所・平成13年3月）
- 19 高野山大学大学院紀要（第4、5号）
高野山大学大学院文学科編（同大学大学院・平成13年2月）
- 20 国際シンポジウム（第13集、道教と東アジア文化）
国際日本文化研究センター編（同センター・平成12年12月）
- 21 国際シンポジウム（第14集、Crossing Cultural Borders、英文）
国際日本文化研究センター編（同センター・平成13年3月）
- 22 国際シンポジウム（第15集、The Imagination of the Body and the History of Bodily Experience、英文）
国際日本文化研究センター編（同センター・平成13年3月）
- 23 国文学研究集会会議録（第24回（二〇〇〇））
国文学研究資料館編（同資料館・平成13年3月）
- 24 国際仏教学大学院大学研究紀要（第4号）
国際仏教学大学院大学（同大学・平成13年3月）
- 25 国士館大学文学部人文学会紀要（第34号）
国士館大学文学部人文学会編（同大学同学会・平成13年12月）
史境（第41、43号）
歴史人類学会編（同学会・平成12年9月、13年3月、9月）
- 26 種智院大学研究紀要（第3号）
種智院大学編（同大学・平成14年3月）
- 27 種智院大学密教資料研究所紀要（第4号）
種智院大学密教資料研究所編（同研究所・平成13年3月）
- 28 信愛紀要（第42号）
和歌山信愛女子短期大学学術研究会（同会・平成14年3月）
- 29 城西大学国際文化研究所紀要（第7号）
城西大学国際文化研究所編（同研究所・平成13年10月）
神道資料叢刊7（佐々木弘綱年譜 上）
- 30 人文研紀要（第40、42号）
高倉一紀著（皇学館大学神道研究所・平成10年3月）
- 31 人文研究（第52巻第1、4、11分冊）
中央大学人文科学研究所（同研究所・平成13年10月）
- 32 大阪市立大学文学部（同学部・平成12年12月）
禅研究所紀要（第6・7合併号・愛知学院創立百周年記念、8、11、29号・開所35周年記念）
- 33 中央学院大学禅研究所・昭和51年12月～平成13年3月
中央学院大学禅研究所編（同研究所・平成13年3月）
- 34 中央学術研究所紀要（第30号）
中央学術研究所編（同研究所・平成13年11月）
- 35 中央学術研究所紀要モノグラフ篇 No.4
中央学術研究所紀要による釈尊伝の研究4

- 金子芳夫編（中央学術研究所・平成13年12月）
- 38 中央大学人文科学研究年報（第22号（二〇〇〇））
中央大学人文科学研究所（同研究所・平成13年3月）
- 39 地域と社会（第4号）
大阪商業大学比較地域研究所編（同研究所・平成13年9月）
- 40 筑紫女学園大学紀要（第13、14号）
筑紫女学園大学編（同大学・平成13年1月、14年1月）
- 41 筑紫女学園短期大学紀要（第36、37号）
筑紫女学園短期大学編（同大学・平成13年1月、14年1月）
- 42 智山教化センター年報（第5号）
智山教化センター（同センター・平成13年6月）
- 43 鶴見大学仏教文化研究所紀要（第6号）
鶴見大学（同大学・平成13年4月）
- 44 天台学報（第43号） 天台学会編（叡山学院・平成13年11月）
- 45 天理大学おやさと研究所年報（第7号（二〇〇〇））
天理大学おやさと研究所編（同研究所・平成13年3月）
- 46 東京大学史料編纂所研究紀要（第11号）
東京大学史料編纂所編（同所・平成13年3月）
- 47 東京大学史料編纂所報（第36号）
東京大学史料編纂所編（同所・平成13年10月）
- 48 東京立正女子短期大学紀要（第29号）
東京立正女子短期大学編（同大学・平成13年3月）
- 49 東西学術研究所紀要（第34輯）
関西大学東西学術研究所編（同研究所・平成13年3月）
- 50 東北アジアアラカルト（第4号、新世紀の東北アジア）
- 伊賀上菜穂編
- 51 東北アジアアラカルト（第5号、老子とトルストイ）
キム・レチュン講演
（東北大学東北アジア研究センター・平成13年11月）
- 52 東北アジア研究（第5号）
東北大学東北アジア研究センター編
（同センター・平成13年3月）
- 53 東北アジア研究シリーズ
（第1号、シンポジウム 変動するアジアと地域研究の課題）
（東北大学東北アジア研究センター 平成13年3月）
- 54 東北アジア研究シリーズ（第2号、公開シンポジウム
21世紀東北アジアの安定と繁栄に果たす日韓の役割）
成澤勝編（東北大学東北アジア研究センター・平成13年6月）
- 55 東北アジア研究センター叢書（第2号、露日辞書・露日会話帳）
ニコライ・レザーノフ編著
（東北大学東北アジア研究センター・平成13年3月）
- 56 東北アジア研究センター叢書（第3号、環中華の儀礼と芸能）
成澤勝編（東北大学東北アジア研究センター・平成13年3月）
- 57 東北アジア研究センター叢書
（第4号、『元朝秘史』モンゴル語全単語・語尾索引）
栗林均他編（東北アジア研究センター・平成13年12月）
- 58 東北学院大学東北文化研究所紀要（第33号）
東北学院大学東北文化研究所編（同研究所・平成13年9月）
- 59 東北福祉大学研究紀要（第25巻）

- 60 東洋学論叢〈26〉(東洋大学文学部紀要紀要第54集) 東北福祉大学編(同大学・平成13年3月)
- 61 東洋大学文学部印度哲学科編(同大学文学部・平成13年3月) 東洋大学中国哲学文学科紀要(第9号)(東洋大学文学部紀要第54集) 東洋大学文学部中国哲学文学科編(同大学文学部・平成13年3月)
- 62 東洋の思想と宗教(第18号) 早稲田大学東洋哲学会編(同学会・平成13年3月)
- 63 同朋大学仏教文化研究所紀要(第20号) 同朋大学仏教文化研究所編(同研究所・平成13年3月)
- 64 同朋大学論叢(第84号) 同朋大学同朋学会(同学会・平成13年6月)
- 65 奈良大学紀要(第30号) 奈良大学編(同大学・平成14年3月)
- 66 成田山仏教研究所紀要(第24号) 成田山仏教研究所(成田山新勝寺・平成13年2月)
- 67 日文研(24)26号 国際日本文化研究センター編(同センター・平成12年9月、13年3月、9月)
- 68 日蓮教学研究所紀要(第26号) 立正大学日蓮教学研究所編(同研究所・平成11年3月)
- 69 日本研究(第21)23集 国際日本文化研究センター編(同センター・平成12年3月、10月、13年3月)
- 70 福井県立大学論集(第18、19号) 福井県立大学編(同大学・平成13年2月、8月)
- 71 仏教学報(第37輯) 東国大学校仏教文化研究院編(同大学・平成12年12月)
- 72 仏教研究(第30号) 国際仏教徒協会編(同協会・平成13年3月)
- 73 仏教大学総合研究所紀要(第8号) 仏教大学総合研究所編(同研究所・平成13年3月)
- 74 仏教大学総合研究所紀要(別冊) 日・韓・中における社会意識の比較調査 仏教大学総合研究所編(同研究所・平成13年7月)
- 75 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書(第28冊) 仏教美術研究上野記念財団助成研究会編(同会・平成13年3月)
- 76 平和と宗教(第20号) 東京大学仏教青年会(同会・平成13年3月)
- 77 北陸宗教文化(第13号) 金沢大学文学部比較文化化学研究室内北陸宗教文化学会(同学会・平成13年3月)
- 78 密教学(第37号) 種智院大学密教学会編(同学会・平成13年1月)
- 79 密教学研究(第33号) 日本密教学会編(同学会・平成13年3月)
- 80 身延山大学東洋文化研究所報(第5号) 身延山大学東洋文化研究所編(同研究所・平成13年3月)
- 81 身延山大学仏教学部紀要(創刊号) 身延山大学仏教学部編(同大学同学部・平成12年10月)
- 82 身延論叢(第6号) 身延論叢編集委員会編(身延山大学仏教学会・平成13年3月)

- 84 民具マンスリー〈第33巻12号、第34巻1〜11号〉
神奈川大学日本常民文化研究所編
(同研究所・平成13年3月〜14年2月)
- 85 武蔵野女子大学仏教文化研究所紀要〈18〉
武蔵野女子大学仏教文化研究所編(同研究所・平成14年2月)
- 86 ヨーロッパ国際シンポジウム〈Two Faces of the Early Modern World: The Netherlands and Japan in the 17th and 18th Centuries〉
英文
国際日本文化研究センター編(同センター・平成13年3月)
- 87 龍谷史壇〈第116、117号〉
龍谷大学史学会編(同学会・平成13年3月、10月)
- 88 龍谷大学仏教学研究年報〈第10、11号〉
龍谷大学仏教学研究室編
(同研究室・平成9年3月、13年3月)
- 89 歴史と民俗〈17〉
神奈川大学日本常民文化研究所編(同研究所・平成13年3月)
- 90 論叢アジアの文化と思想〈第10号〉アジアの文化と思想の会編
(早稲田大学文学部東洋哲学研究室同会・平成13年12月)

平成十四年密教文化研究所だより

東智學学長の兼任であった研究所長に、平成十四年四月一日付で生井智紹教授が就任せられた。任期は三年間である。

定例の合同研究会(テーマ「弘法大師の思想とその展開」および「密教の形成と流伝」)は、生井所長のもと、藤田・前谷両専従所員、越智・山陰・室寺各所員、学外研究者として岩崎・森岡研究員の他、今年度は大塚伸夫氏(大正大学講師)・野口圭也氏(種智院大学助教授)にも委託研究員として御参加いただいている。

六月には特別研究会として西山良平氏(京都大学総合人間学部教授)をお迎えして、弘法大師空海の生涯と重なる奈良時代末期から平安前期の社会と政治情勢についてお話いただき、大学院生・学部生の聴講者も多数あつて盛況だった。

- 平成14年5月24日(金) 奥山直司「インド・シッキム地方調査報告」
- 6月26日(水) 西山良平「奈良・平安前期の社会・政治情勢」
- 7月23日(火) 乾 仁志「バンングラデシュ現地調査報告」
- 9月10日(火) 大塚伸夫「『牟梨曼陀羅呪経』に見られる初期密教の特徴」
- 野口圭也「毘盧遮那を中尊とするマンダラ」
- 森 雅秀「密教儀礼と建築術」
- 藤田光寛「瑜伽戒と受戒法」
- 10月28日(月) 岩崎日出男「般若三蔵の恩(再説)」と国土観

に関する二三の問題」

11月25日(月) 前谷 彰「密教の概念をめぐる問題」

12月17日(火) 山陰加春夫「院政期の高野参詣―御室御所

高野山御参籠日記」を中心に―」

平成15年1月24日(金) 越智淳仁「法門寺の八大明王について」

3月19日(水) 室寺義仁「空海40代前半の思索の一特性に

ついて」

河 廷龍「三国遺事に見える山神関係記事の
意味」

今年度は密教文化研究所受託研究員として七名、河廷龍氏(継続、韓国)、ステイブ・トレンソン氏(ベルギー、京都大学大学院博士後期課程)、パーケルマンス・ペテロ氏(ベルギー、南山大学大学院博士後期課程)、パオラ・デイ・フェリーチェ氏(イタリア、高野山真言宗国際交流センター研究員)、静春樹・川崎一洋両氏(高野山大学大学院博士後期課程単位取得退学)、菊谷竜太氏(東北大学大学院博士後期課程)を、それぞれ平成十四年四月一日から同十五年三月三十一日まで受け入れている。

密教文化研究所では、平成十四年度からの継続事業として、高野山親王院住職安田弘仁師の御理解の下、新たに親王院所蔵聖教・古文書調査を開始した。同院には約二百八十箱の聖教・典籍・古文書が所蔵されているが、簡単な目録があるのみで、ほとんど閲覧・調査されたことがない。特に水原堯栄前官の収集になる一群の聖教・典籍類(堯栄文庫)の中には、以前『定本弘法大師全集』にも底本として使用を

お許しいただいた印融自筆写本の『十住心論』をはじめ、貴重な典籍が収集されている。今年十二月時点では上蔵の聖教約六十箱が調査済みで、鎌倉から江戸初期頃の写本や古文書六十五点約四千コマを撮影している。詳細は本号の「高野山親王院聖教文書調査概要」を参照されたい。

南アジアにおける

密教図像の形成と展開に関する研究

平成十二年度から、日本私立学校振興・共済事業団の学術研究振興資金の交付を受けて行われている「南アジアにおける密教図像の形成と展開に関する研究」は、同十四年が最終年度で、年度内に更に海外調査を実施し、来年度に全体の報告書を取りまとめることになっている。構成メンバーは次のとおり。

研究代表者 生井智紹(研究所長・高野山大学教授)

研究分担者 藤田光寛(専従研究所員・高野山大学教授)

乾 仁志(高野山大学教授)

奥山直司(高野山大学助教授)

森 雅秀(金沢大学助教授)

◎海外調査の日程および調査地

平成十四年三月十九日(火) から三十日(土)まで、研究分担者乾仁志教授がバン格拉デシユにおける第三回海外調査を実施した。調査地は次のとおり。

アジア協会（インド・コルカタ）
 バングラデシュ国立博物館（バングラデシュ・ダッカ）
 バングラデシュ文化省考古局（ダッカ）
 マハスタンガルフ（ボグラ）
 ジャガッダラ寺院遺跡（ダモイルハット）
 ヴァレンドラ博物館（ラジシャヒ）
 パハルプル博物館（パハルプル）
 ソーマプラ寺院遺跡（パハルプル）
 マイナマティ博物館（コミラ）
 サルバンビハーラ（コミラ）
 イタコラムラ（コミラ）
 ルパンムラ（コミラ）
 マイナマティパレス（コミラ）等

密教文化研究所では過去にバングラデシュ密教学術調査を実施し、その成果は複数の調査隊員によって本誌に報告されている。しかし、その時に調査・撮影されたスライドフィルムに関しては、未確認のものや未整理のものがある。また、前回の調査から十年以上が経過しており、その後の現地の実状は把握できていない。このようなことから、バングラデシュにおける密教関係遺跡の現状、発掘の進展による新たな出土品等に関して、今回改めて現地調査を行ったものである。その内、前回の時点で手付かずだったジャガッダラ寺院遺跡の発掘を見学したり、ボージャラージャ僧院遺跡から出土して話題になった金剛薩埵の大きなブロンズ像を見ることができた。また、バングラデシュ国内は道路整備が進みつつあり、以前に比べると長距離の移動が容易

になってきている等、現地の状況はかなり変化していることを実感したという。

密教文化研究所構成員名簿 (平成十四年十二月一日現在)

所長

専従研究所員

兼任研究所員

委託研究員

生井 智紹 (文学部教授)

藤田 光寛 (文学部教授)

前谷 彰 (文学部助教)

越智 淳仁 (文学部教授)

山陰加春夫 (文学部教授)

室寺 義仁 (文学部助教)

岩崎日出男 (園田学園女子大学国際文化学部助教)

森 雅秀 (金沢大学文学部助教)

野口 圭也 (種智院大学仏教学部助教)

大塚 伸夫 (大正大学講師)

松長 有慶 (名誉教授)

甲田 博史

甲田 博史

川崎 一洋

塩崎まじか (非常勤)

顧問

研究所事務室長

専門員

【教職員人事】

○退任 平成十四年三月三十一日付

東 智學 所長

越智 淳仁 兼任研究所員

山陰加春夫 兼任研究所員

室寺 義仁 兼任研究所員

岩崎日出男 委託研究員
森 雅秀 委託研究員

○就任 平成十四年四月一日付

生井 智紹 所長

越智 淳仁 兼任研究所員

山陰加春夫 兼任研究所員

室寺 義仁 兼任研究所員

岩崎日出男 委託研究員

森 雅秀 委託研究員

野口 圭也 委託研究員

大塚 伸夫 委託研究員

川崎 一洋 仏教学科助手 (研究所事務室所属)

○異動 平成十三年十二月一日付

甲田 博史 研究所事務室長 (研究所課課長補佐)

平成十四年四月一日付

中原 祥徳 総務課書記 (仏教学科助手)

○退職 平成十四年九月二十六日付

北原 裕全 密教学科助手

高野山大学密教文化研究所規程

(総則)

第一条 この規程は、高野山大学（以下「本学」という。）学則第三九条に基づき、密教文化研究所（以下「研究所」という。）の目的及び組織等に必要事項を定めるものである。

(目的)

第二条 この研究所は、真言密教の濫奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以て目的とする。

(事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学術交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

(研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
- ② 総合研究部門

(職員組織)

- 2 基礎研究部門においては、日本及びアジア地域における密教の基礎的研究並びに基礎資料の調査研究を行う。
- 3 総合研究部門においては、密教の思想と文化並びに関連領域について総合的な比較研究を行う。

第五条 研究所に次の職員を置く。

- ① 研究所長 若干名
- ② 研究所員 若干名
- ③ 研究員 若干名
- ④ 第九条に規定する事務職員 若干名

(研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。

3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を掌理する。

(研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が文学部長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。

3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。

4 専従研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。

5 専従研究所員の担当する授業時間数等については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。

6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究又は事業に従事する。

7 兼任研究所員の任期は一年とし、再任を妨げない。

(研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。

4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。

5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱をすることがある。

7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。

8 受託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

第九条 研究所の事務は、研究所事務室がつかさどる。

2 研究所事務室に事務室長、専門員及びその他の事務職員を置く。

3 事務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。

4 専門員は、研究所長及び研究所事務室長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分

野の業務を直接処理する。

(運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会を置く。

2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則等の準用)

第二二条 この規程に定めるもののほか、研究所の運営に関し必要な事項は、本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

(規程の改廃)

第十三条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

一 この規程は昭和三三年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五一年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五九年四月一日より施行する。

一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。

一 この規程は平成三年二月一八日より施行する。

一 この規程は平成三年四月一日より施行する。

一 この規程は平成五年四月一日より施行する。

一 この規程は平成七年五月一日施行し、平成七年四月一日より適用する。

一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より

適用する。

この規程は平成一四年二月二日より施行する。

『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。

第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 研究所長
- (2) 専従研究所員
- (3) 「紀要」編集担当者

2 編集委員長は研究所長がこれにあたる。研究所事務室長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。

第3条 編集委員会は研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故あるときは、互選によって議長を選出する。

第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。

- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
- (2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。
- 1 この規程は、平成一四年五月二日から施行する。

『密教文化研究所紀要』寄稿規程

- 第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。
- 第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 研究所長
 - (2) 研究所員
 - (3) 研究員
 - (4) 編集委員会が適当と認める者
- 第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。
- 第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再稿までとし、校正時の大幅な改変・追加等は認めない。
- 第5条 寄稿された原稿は、査読委員会を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会に、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。
- 第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行なわない。
- 第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

『密教文化研究所紀要』査読委員会規程

- (設置)
- 第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』査読委員会（以下「査読委員会」という。）を設置する。
- (目的)
- 第2条 査読委員会は、寄稿論文原稿を査読し、紀要の学術的価値の向上を計ることを目的とする。
- (構成)
- 第3条 査読委員会は、研究所長を委員長とし、研究所員若干名の委員をもって構成する。
- 2 委員長は、寄稿論文のテーマにしたがって、研究所員以外から委員を委嘱することができる。
- (任務)
- 第4条 委員は、寄稿された論文原稿について査読し、その学術的評価を判断して、その結果を委員会に報告する。
- 2 委員長は、各委員からの報告を受けて査読委員会を開き、論文掲載の可否を審議し、編集委員会に報告する。
- (任期)
- 第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。
- (改廃)
- 第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附
則

1 この規程は平成九年四月一日から施行する。

執筆者紹介 (掲載順)

岩崎 日出男 密教文化研究所委託研究員

(園田学園女子大学国際文化学部
助教授)

甲田 宥叶 密教文化研究所専門員

静 春樹 密教文化研究所受託研究員

森 雅秀 密教文化研究所委託研究員

(金沢大学文学部助教授)

藤田 光寛 密教文化研究所専従研究所員

(文学部教授)

編集後記

『密教文化研究所紀要』第十六号をお届けいたします。今号には岩崎日出男、甲田宥叶、静春樹、森雅秀、藤田光寛各先生の論文の他、研究所として事業を進めている高野山親王院聖教文書調査の概要報告を掲載いたしました。森先生の論文は、彙報の報告のとおり、今年度行なわれた当研究所の共同研究会による成果、岩崎先生の論文は研究会テーマに関連するもの、藤田先生の訳注は昨年度の校訂テキストによる一部です。また、静氏は昨年度本学大学院文学研究科博士後期課程を単位取得、引き続き研究所受託研究員として、謎の多い「ガナ・チャクラ」の解明に取り組んでおられます。

一部で報道されていますように、本学の環境は次第に厳しくなりつつありますが、遠方で出会う同窓生に励まされながら、当研究所においても研究活動の成果が充分に発揮できるよう、努力を重ねていきたいと思っています。

(甲田記)

高野山大学密教文化研究所紀要 第十六号

平成十五年二月二十一日 印刷
平成十五年二月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 生井智紹

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学

電話 (〇七五) 五六一三三〇 〇六八八〇二八〇

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七―一三二―一

電話 (〇六) 六四五六八七二―六 〇五五三二〇〇三三